

令和7年度公共事業評価意見書に対する対応方針・対応状況

事前評価（5件）

所管部	事業名	箇所・地区名	所在地	意見の内容	対応方針・対応状況
県土整備部	治水事業	湯川	甲府市	この事業は、甲府市の湯村温泉郷を流下する一級河川湯川において、洪水被害の防止を目的に、河川改修を行うものである。 当該河川は、平成23年9月台風15号や令和6年8月豪雨などにより何度も家屋の浸水被害が発生しており、早急に流下能力の向上を図る必要がある。 本事業の実施により、洪水被害の防止に加え、第二次緊急輸送道路である主要地方道甲府韭崎線の保全による被害の波及防止が期待されることから、事業の必要性は高く、実施が妥当である。なお、関連する周辺開発事業との調整を図りながらの事業実施に努められたい。	(治水課) 関連する周辺開発事業との調整を図りながらの事業実施に努める。
県土整備部	急傾斜地崩壊対策事業	下部の2	身延町	この事業は、身延町に位置する急傾斜地において、崖崩れ被害の防止を目的に、斜面の崩壊対策を実施するものである。 当該急傾斜地は、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域に指定されており、保全対象として人家や避難路となる町道があることから、崖崩れが発生した場合には、人命に影響を及ぼすことが懸念されている。 本事業の実施により、崖崩れ被害の防止が期待されることから、事業の必要性は高く、実施が妥当である。	(砂防課)
県土整備部	道路事業	国道411号（日川橋）	山梨市～ 笛吹市	この事業は、山梨市と笛吹市を結ぶ国道411号において、災害に強い道路の確保を目的に、道路改良と日川橋の架け替えを実施するものである。 当該国道は、第一次緊急輸送道路に指定されており、特に日川橋は、山梨市と笛吹市を結ぶ橋梁として地域の活性化に資する非常に重要な橋梁であるが、道路幅員が狭く大型車同士のすれ違いが困難な上、竣工から67年が経過し老朽化が著しい。 本事業の実施により、災害に強い道路の確保に加え、国道20号及び中央自動車道一宮御坂ICへのアクセス向上が期待されることから、事業の必要性は高く、実施が妥当である。	(道路整備課)
県土整備部	道路事業	(一) 天神平甲府線（塚原ICアクセスⅡ期）	甲府市	この事業は、甲府市小松町から塚原町地内の一般県道天神平甲府線において、新山梨環状道路北部区間の塚原IC（仮称）へのアクセス向上を目的に、バイパス道路を新たに整備するものである。 当該路線は、新山梨環状道路北部区間の塚原IC（仮称）へのアクセス道路に位置づけられており、現在整備中の「塚原ICアクセスⅠ期事業」と合わせて新山梨環状道路の道路ネットワーク効果を発現させるため重要な役割を果たすものである。 本事業の実施により、新山梨環状道路北部区間の塚原IC（仮称）へのアクセス向上が期待されることから、事業の必要性は高く、実施が妥当である。なお、国との連携した事業実施に努められたい。	(道路整備課) 国との連携した事業実施に努める。
県土整備部	砂防事業	十二山川	北杜市	この事業は、八ヶ岳・茅ヶ岳火山地域に位置する溪流において、土石流被害の防止を目的に、砂防堰堤を整備するものである。 当該溪流は、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域に指定されており、保全対象として人家やJR小海線、第二次緊急輸送道路である主要地方道北杜富士見線があることから、土石流が発生した場合には、甚大な被害を及ぼすことが懸念されている。 本事業の実施により、土石流被害の防止が期待されることから、事業の必要性は高く、実施が妥当である。	(砂防課)

再評価（15件）

区分	所管部	事業名	箇所・地区名	所在地	意見書の内容	対応方針・対応状況
計画内容を見直し、工期の変更を行った上で継続することが妥当と判断した事業	森林環境部	林道事業	細野鹿留線	都留市	この事業は、都留市南東部の御正体山北面一体の県有林の管理経営を目的に、都留市大野と都留市鹿留を連絡する森林基幹道を整備するものである。 今回の見直し案の主たる内容は、脆弱な地質の影響で想定以上の法面保護工が必要になったこと及び詳細設計の結果により路線延長が延伸となったことによる事業費の増額と事業期間の延伸である。 本事業の完了により、木材の伐採搬出コストの削減が図られ、林業の成長産業化の推進に寄与することが期待される。また、森林を適正に管理し保全することで、水源涵養や土砂流出防止など森林の公益的機能の発揮にもつながることから、見直し案により事業を継続することが妥当である。 事業の実施にあたっては、時間管理を徹底し、見直し案のとおり令和11年度の完成に努められたい。	（治山林道課） 見直し案のとおり令和11年度の完成に向けて着実に事業を推進していく。
	農政部	農地整備事業	穴山	韭崎市	この事業は、桃の栽培を中心に営んでいる韭崎市穴山町において、営農環境の改善や農業経営の強化を目的に、区画整理や農道等の農業生産基盤を整備するものである。 今回の見直し案の主たる内容は、成園化している桃の収穫樹の伐採を多く伴う箇所について、農業経営への影響を考慮し、本計画から除外することによる事業費の減額と、残路線の一部で関係者との調整が難航し合意形成に日数を要したことによる事業期間の延伸である。 本事業の完了により、営農環境の改善や農業経営の強化が期待されることから、見直し案により事業を継続することが妥当である。 事業の実施にあたっては、時間管理を徹底し、見直し案のとおり令和10年度の完成に努められたい。	（耕地課） 見直し案のとおり令和10年度の完成に向けて着実に事業を推進していく。
	農政部	農地整備事業	中山	北杜市	この事業は、かつて養蚕が盛んであった北杜市武川町の中山間地域において、養蚕業の衰退により発生した耕作放棄地の解消、農地の集積及び農業用水の安定供給を目的に、区画整理や用排水路等の農業生産基盤を整備するものである。 今回の見直し案の主たる内容は、区画形状を検討した結果、切盛土量の抑制が図られたことによる事業費の減額と、区画整理の一部範囲に発生した軟岩の掘削に日数を要したことによる事業期間の延伸である。 本事業の完了により、新たな醸造用ぶどう産地の形成が図られることから、見直し案により事業を継続することが妥当である。 事業の実施にあたっては、時間管理を徹底し、見直し案のとおり令和10年度の完成に努められたい。	（耕地課） 見直し案のとおり令和10年度の完成に向けて着実に事業を推進していく。
	農政部	中山間地域整備事業	甲斐駒東部	北杜市	この事業は、水稲や野菜の栽培を中心に営んでいる北杜市白州町・武川町の中山間地域において、営農環境の改善や地域の活性化を目的に、区画整理や用排水路等の農業生産基盤を整備するものである。 今回の見直し案の主たる内容は、沈砂地等の土砂溜機能を追加したことや、担い手農業者の営農に即した区画形状の再検討に伴い切盛土量が増加したことによる事業費の増額と、区画整理における換地計画の合意形成と埋蔵文化財発掘調査に日数を要したことによる事業期間の延伸である。 本事業の完了により、営農環境の改善や地域の活性化が期待されることから、見直し案により事業を継続することが妥当である。 事業の実施にあたっては、時間管理を徹底し、見直し案のとおり令和12年度の完成に努められたい。	（耕地課） 見直し案のとおり令和12年度の完成に向けて着実に事業を推進していく。
	農政部	中山間地域整備事業	黒駒東	笛吹市	この事業は、果樹栽培を中心に営んでいる笛吹市御坂町の中山間地域において、営農環境の改善や地域の活性化を目的に、区画整理や農道等の農業生産基盤を整備するものである。 今回の見直し案の主たる内容は、地質調査の結果に基づき橋台杭基礎を追加したことや、新たな担い手農業者の参入を見据えた農地の集団化に伴い切盛土量が増加したことによる事業費の増額と、区画整理における換地計画の合意形成に日数を要したことによる事業期間の延伸である。 本事業の完了により、営農環境の改善や地域の活性化が期待されることから、見直し案により事業を継続することが妥当である。 事業の実施にあたっては、時間管理を徹底し、見直し案のとおり令和9年度の完成に努められたい。	（耕地課） 見直し案のとおり令和9年度の完成に向けて着実に事業を推進していく。

再評価（15件）

区分	所管部	事業名	箇所・地区名	所在地	意見書の内容	対応方針・対応状況
計画内容を見直し、工期の変更を行った上で継続することが妥当と判断した事業	県土整備部	道路事業	(主) 甲府昇仙峡線（新長とろ橋）	甲府市～甲斐市	この事業は、甲府市平瀬町から甲斐市吉沢を結ぶ主要地方道甲府昇仙峡線にある大正14年に架橋された長潭橋の老朽化の進行に伴い、現橋の下流側に新設橋を整備するものである。 今回の見直し案の主たる内容は、橋梁上部工事における仮設工法や仮設支保工の構造を変更したことによる事業費の増額と、下部工事において、想定よりも脆弱な地質であったことに伴い仮設土留工を変更したことによる事業期間の延伸である。 本事業の完了により、災害に強い道路の確保や生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上に加え、土木遺産に認定されている現橋を活かした地域観光の活性化が期待されることから見直し案により事業を継続することが妥当である。 事業の実施にあたっては、時間管理を徹底し、見直し案のとおり令和12年度の完成に努められたい。	(道路整備課) 見直し案のとおり令和12年度の完成に向けて着実に事業を推進していく。
	県土整備部	道路事業	(主) 甲府昇仙峡線（山宮拡幅Ⅱ期）	甲府市	この事業は、甲府市山宮町地内の主要地方道甲府昇仙峡線において、甲府市街地から新山梨環状道路北部区間の牛句IC（仮称）へのアクセス向上や歩行者等の安全性の確保を目的に、道路を整備するものである。 今回の見直し案の主たる内容は、軟弱地盤が確認されたことに伴い路床改良工を追加することや、補償対象物件が想定以上となったことによる事業費の増額と、用地取得及び埋蔵文化財発掘調査に日数を要したことによる事業期間の延伸である。 本事業の完了により、新山梨環状道路北部区間の牛句IC（仮称）と甲府市街地の道路ネットワークの強化及びアクセス向上や歩行者等の安全性の確保が期待できることから、見直し案により事業を継続することが妥当である。 事業の実施にあたっては、時間管理を徹底し、見直し案のとおり令和13年度の完成に努められたい。	(道路整備課) 見直し案のとおり令和13年度の完成に向けて着実に事業を推進していく。
	県土整備部	街路事業	(都) 太田町蓬沢線ほか2路線	甲府市	この事業は、甲府市幸町地内の都市計画道路太田町蓬沢線ほか2路線において、市街地内の交通の円滑化や歩行者等の安全性の確保を目的に、道路を整備するものである。 今回の見直し案の主たる内容は、本事業で整備が予定されていた一部区間が別事業で実施されたことによる事業費の減額と、用地取得に日数を要したことによる事業期間の延伸である。 本事業の完了により、市街地内の交通の円滑化や歩行者等の安全性の確保が期待されることから、見直し案により事業を継続することが妥当である。 事業の実施にあたっては、時間管理を徹底し、見直し案のとおり令和12年度の完成に努められたい。	(都市計画課) 見直し案のとおり令和12年度の完成に向けて着実に事業を推進していく。
	県土整備部	街路事業	(都) 高畑町昇仙峡線（Ⅱ期工区）	甲府市	この事業は、甲府市千塚地内の都市計画道路高畑町昇仙峡線において、甲府市街地から新山梨環状道路北部区間の牛句IC（仮称）へのアクセス向上や歩行者等の安全性の確保を目的に、道路を整備するものである。 今回の見直し案の主たる内容は、補償対象物件が想定以上となったことによる事業費の増額と、用地取得及び埋蔵文化財発掘調査に日数を要したことによる事業期間の延伸である。 本事業の完了により、新山梨環状道路北部区間の牛句IC（仮称）と甲府市街地の道路ネットワークの強化及びアクセス向上や歩行者等の安全性の確保が期待できることから、見直し案により事業を継続することが妥当である。 事業の実施にあたっては、時間管理を徹底し、見直し案のとおり令和13年度の完成に努められたい。	(都市計画課) 見直し案のとおり令和13年度の完成に向けて着実に事業を推進していく。
	農政部	農地整備事業	ゆずの郷	富士川町	この事業は、ゆずと水稲の栽培を中心に営んでいる富士川町の中山間地域において、営農環境の改善や地域の活性化を目的に、区画整理や農道等の農業生産基盤を整備するものである。 今回の見直し案の主たる内容は、急峻な地形条件に適応した道路構造物を整備したこと及び新たなゆずの需要が生まれ、生産拡大のために区画整理区域を追加したことによる事業費の増額と、地元との調整や関係機関との協議、区画整理における換地計画の合意形成に日数を要したことによる事業期間の延伸である。 本事業の完了により、営農環境の改善や地域の活性化が期待されることから、見直し案により事業を継続することが妥当である。 事業の実施にあたっては、時間管理を徹底し、見直し案のとおり令和12年度の完成に努められたい。	(耕地課) 見直し案のとおり令和12年度の完成に向けて着実に事業を推進していく。

再評価（15件）

区分	所管部	事業名	箇所・地区名	所在地	意見書の内容	対応方針・対応状況
計画内容を見直し、工期の変更を行った上で継続することが妥当と判断した事業	県土整備部	道路事業	国道140号（桜井ICアクセス）	甲府市	この事業は、甲府市桜井町地区内の国道140号において、市街地内の交通の円滑化を目的に、西関東連絡道路と新山梨環状道路北部区間を接続する道路を整備するものである。 今回の見直し案の主たる内容は、補償費増による事業費の増額と、用地取得に日数を要したことによる事業期間の延伸である。 本事業の完了により、西関東連絡道路と新山梨環状道路を往来する車両が一般道を経由することなく通行可能となり、自動車専用道路のネットワークが強化されることに加え、渋滞の解消も期待されることから、見直し案により事業を継続することが妥当である。 事業の実施にあたっては、時間管理を徹底し、見直し案のとおり令和12年度の完成に努められたい。	（道路整備課） 見直し案のとおり令和12年度の完成に向けて着実に事業を推進していく。
	県土整備部	治水事業	古川	韮崎市	この事業は、韮崎市を流下する一級河川古川において、洪水被害の防止を目的に、河川改修を行うものである。 今回の見直し案の主たる内容は、護岸工施工時の掘削面前落に伴い背面矢板土留工を追加したことや、整備延長を延伸したことによる事業費の増額と事業期間の延伸である。 本事業の完了により、洪水被害の防止が期待されることから、見直し案により事業を継続することが妥当である。 事業の実施にあたっては、時間管理を徹底し、見直し案のとおり令和12年度の完成に努められたい。	（治水課） 見直し案のとおり令和12年度の完成に向けて着実に事業を推進していく。
	県土整備部	街路事業	（都）和戸町竜王線（城東～中央5丁目工区）	甲府市	この事業は、甲府市城東から中央5丁目地内の都市計画道路和戸町竜王線において、市街地内の交通の円滑化と歩行者等の安全性の確保を目的に、道路を整備するものである。 今回の見直し案の主たる内容は、仮設橋や電線共同溝の追加施設の設置及び下水道移設による事業費の増額と事業期間の延伸である。 本事業の完了により、市街地内の交通の円滑化と歩行者等の安全性の確保が期待されることから、見直し案により事業を継続することが妥当である。 事業の実施にあたっては、時間管理を徹底し、見直し案のとおり令和13年度の完成に努められたい。	（都市計画課） 見直し案のとおり令和13年度の完成に向けて着実に事業を推進していく。
	県土整備部	街路事業	（都）大手二丁目浅原橋線（柳町工区）	甲府市	この事業は、甲府市中央4丁目地内の都市計画道路大手二丁目浅原橋線において、市街地内の交通の円滑化と歩行者等の安全性の確保を目的に、道路を整備するものである。 今回の見直し案の主たる内容は、補償費増による事業費の増額と、用地取得に日数を要したことによる事業期間の延伸である。 本事業の完了により、市街地内の交通の円滑化と歩行者等の安全性の確保が期待されることから、見直し案により事業を継続することが妥当である。 事業の実施にあたっては、時間管理を徹底し、見直し案のとおり令和13年度の完成に努められたい。	（都市計画課） 見直し案のとおり令和13年度の完成に向けて着実に事業を推進していく。
工期の変更を行った上で継続することが妥当と判断した事業	農政部	中山間地域整備事業	身延南部	身延町	この事業は、水稻や野菜を中心に営んでいる県南西部の身延町の中山間地域において、営農環境の改善や地域の活性化を目的に、区画整理や農道等の農業生産基盤を整備するものである。 今回の見直し案の主たる内容は、区画整理における換地計画の合意形成に日数を要したことによる事業期間の延伸である。 本事業の完了により、営農環境の改善や特産品である「あけぼの大豆」を核とした地域の活性化が期待されることから、見直し案により事業を継続することが妥当である。 事業の実施にあたっては、時間管理を徹底し、見直し案のとおり令和10年度の完成に努められたい。	（耕地課） 見直し案のとおり令和10年度の完成に向けて着実に事業を推進していく。

事後評価（2件）

所管部	事業名	地区・路線名	所在地	意見の内容	対応方針・対応状況
森林環境部	林道事業	菅野盛里線	都留市	この事業は、都留市大野から朝日曽離地内にかけて、路網密度の低い大旅川、戸沢川及び菅野川流域の広大な森林の管理経営を効率的に行うことを目的に、森林基幹道を整備したものである。 本事業後は、森林整備が計画的かつ効率的に行われ、主伐や間伐による木材の搬出も円滑に行われていることから、事業の目的が達成されたと評価できる。また、水源涵養や山地保全など森林の公益的機能が高まるとともに、主要地方道四日市場上野原線と主要地方道都留道志線を連絡する新たなアクセス道としての機能も有していることから、事業効果は大きいと判断される。	(治山林道課)
農政部	中山間地域整備事業	天王原	北杜市	この事業は、茅ヶ岳山麓西斜面の畑地帯に位置する中山間地域において、農作業の省力化や効率化、地域の活性化を目的に、用排水路や鳥獣害防止施設、区画整理等の農業生産基盤を総合的に整備したものである。 本事業後は、区画整理等により営農環境が改善し、農作物の生産性や品質が向上していることから、事業の目的が達成されたと判断できる。また、耕作放棄地の解消による良好な農村景観の形成に寄与するとともに、農業法人等の新たな担い手の参入による地域の雇用創出などの効果が発現していることから、事業効果は大きいと判断される。	(耕地課)

附帯意見（2件）

所管	事業名	地区・ 路線名	所在地	意見の内容	対応方針・対応状況
森林環境部 農政部 県土整備部	-	-	-	<p>（1）委員会審議対象について 本委員会が審議する対象事業については、近年件数が増加傾向にあり、効率的な委員会運営のために、対象事業の選定方法を見直す必要があると考えられる。このため、新たに小委員会を設置して議論を進め、本委員会における審議対象見直しの方向性を示すこととした。 今後の委員会運営にあたっては、この見直しの方向性を十分に反映し、対象事業の審議を一層充実させるよう配慮されたい。</p> <p>（2）評価方法の検討について 費用便益分析が困難な事業や関連する事業全体で評価することが合理的だと思料される事業が見受けられたため、評価方法や評価指標の見直しを検討されたい。</p>	<p>（事務局） （1）について、今後の委員会運営にあたっては、見直しの方向性を十分に反映し、対象事業の審議を一層充実させるよう配慮する。</p> <p>（2）について、費用便益分析が困難な事業は、事業の目的、必要性及び期待される効果を踏まえ、事業の妥当性を総合的に評価する手法の検討を行う。また、関連する事業全体で評価することが合理的だと思料される事業は、全ての工区を一体的に整備することで、事業効果が発現するものであることから、工区全体や関連する事業を含めて評価を実施する。</p>